

「第9回太平洋・島サミット」について

本日7月2日、「第9回太平洋・島サミット」がテレビ会議方式により開催されました。

今回の太平洋・島サミットにおいては、新型コロナウイルス感染症対策、持続可能な海洋、気候変動、持続可能な成長、人材育成といった分野で首脳間の率直な議論が交わされたと聞いています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、太平洋島しょ国の首脳の皆様を三重県にお迎えすることはできませんでしたが、このような状況下においても、テレビ会議方式で集い、日本と太平洋島しょ国との間で長年にわたって育まれてきた絆をより深く強いものにできたことを大変嬉しく思います。

さて、本日サミットに先立ち開催された「日本・太平洋島嶼国友好議員連盟総会」に私がオンラインで参加し、関係各国駐日大使の皆様、そして加盟議員の皆様方に県内の様々な主体が築いてきた各国との連携・交流、三重の魅力などをご紹介します。

加えて、サミットにおいては、日本政府をはじめ関係各国の皆様のご協力のもと、当初、地元プログラム等でご覧いただくことを予定していた本県の「空飛ぶクルマ」や「ミッションゼロ 2050」「ICETT」「伊勢志摩の魅力」「県立水産高校の次世代交流」の取組などを各国首脳の皆様映像で発信することができました。

また、サミットの成果文書のひとつである「共同行動計画」において、今回初めて私が代表を務める「太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク」による関係各国との人的交流・人材育成が盛り込まれました。

このことは、パラオ共和国との交流を長年続けてきた本県はもとより、我々地方自治体が地域の特色を生かした幅広い分野での国際交流を推進するうえで、大変有意義であると考えています。

引き続き、同ネットワーク構成 13 道県とともに、保健医療、環境、防災、漁業、観光などの分野について、この人的交流・人材育成の取組を加速してまいります。

本県といたしましては、今回の第9回太平洋・島サミットの成果をふまえ、これまで培ってきた太平洋島しょ国との絆を礎に、関係各国との交流をさらに深めていきたいと考えています。

そして、将来、第10回太平洋・島サミットが開催される際は、改めて各国首脳の皆様三重県にお越しいただき、実際に県民の皆様と笑顔でふれあうことができるよう、次期サミットの本県誘致に向けた気運醸成に取り組んでまいります。

令和3年7月2日

三重県知事 鈴木英敬